

ROAD WORKS REPORT

■問合先/建設課 (☎ 58-5111・75-3111 代表)

まもなく掘削開始 (仮称) 上曽トンネル

完成イメージ (真壁町山尾地内)



掘削前の工事箇所



大型車両の通行も考慮し、
車両幅員 3.25mとしています。

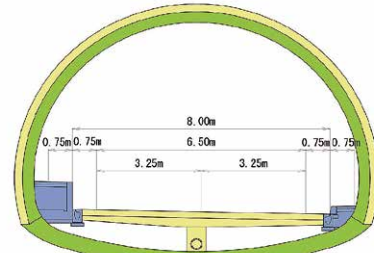


図 (仮称) 上曽トンネル標準横断

- 道路規格/第3種2級
- 計画速度/50 km/h
- トンネル長/3,538 m
- 幅員/W 8 m / 6.5 m

現在、トンネル坑口までの仮設道路工事が完了しました。今後は、トンネル掘削・搬出運搬に向けての準備として、騒音・振動など、周辺への影響が考えられる範囲での事前調査を行う予定です。

トンネル工事の概要は、上曽峠の地下を最大土被り400mの位置で貫くトンネルです。この地域に分布する地質の大部分は花崗岩ですが、坑口周辺では一部マサ化していることから、周辺地山が持つ支持機能を有効に活用し、吹付けコンクリートやロックボルト、鋼製支保工などにより地山の安定を確保しながら掘削するNATM工法と、補助工法(充填式フォアポーリング工法・長尺鋼管フォアパイリング工法)を組み合わせてトンネルを施工します。

令和7年度の完成を目指し、(仮称)上曽トンネル整備事業を進めており、桜川市・石岡市を繋ぐ県内で最も長いトンネルとなります。

工事などで周辺の方々にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

国道50号は、群馬県前橋市と水戸市を結び、茨城県の東西軸を担っている幹線道路で、この区間は県内の国道50号における2車線区間で混雑度がワースト1位となっております。速度低下に起因する交通事故も発生しています。

協和バイパス事業は、交通容量を確保することにより幹線道路の到達性向上や、交通事故の減少による安全性確保、道路ネットワークの連携強化による物流生産性の向上に寄与する事業で、2車線を4車線化に整備するものです。今年度は、事業対象範囲および周辺での測量・地質調査を行います。

国道50号

協和バイパス事業化決定



調査の際は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。